様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7 年　　6 月　　24 日

富山県知事

新　田　八　朗　　殿

提出者

住　所　富山県高岡市米島282番地

氏　名　中越パルプ工業株式会社 高岡工場
上席執行役員工場長　下川　靖博

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0766-26-2462

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中越パルプ工業株式会社　高岡工場
事業場の所在地	富山県高岡市米島282番地
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	5-6　パルプ・紙・紙加工品製造業
②　事業の規模	令和6年度製品生産量　354,507T
③　従業員数	283人　（令和7年4月1日現在）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	■有機汚泥 →中間処理→脱水処理後→焼却炉→焼却灰→循環利用 ■無機性汚泥 →石灰製造工程（ﾗｲﾑｷﾙﾝ）→残渣→循環利用（ｾﾒﾝﾄ原料）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

■ 総括責任者　　所属　高岡工場　上席執行役員工場長　下川　靖博
■ 廃棄物担当者　　組織名　環境管理室　組織人数：3人
■ 工場環境保全委員会
廃棄物の発生抑制、減量化・循環利用・適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う。
委員長―工場長　委員―関連部署部長　事務局―環境管理室
■ 廃棄物処理総括責任者（工場長）
・廃棄物処理方針の策定　・工場の廃棄物管理規定の策定・改廃
・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
■ 廃棄物管理担当（環境管理室長）
1）廃棄物処理計画の作成
2）廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
3）産業廃棄物処理施設の運転に係る維持管理状況の把握
4）処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理
5）委託契約の内容確認と契約書の保管
6）廃棄物焼却炉の維持管理基準の公開（ｳｪﾌﾞｻｲﾄ）
7）監督官庁への各種報告
8）社員、関連会社に対する教育、啓発
9）その他関係する事項
10）多量排出者責任に係る委託業者の定期監査

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　　令和6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙－１の通り
排出量	

（これまでに実施した取組）
・ﾊﾟﾙﾌﾟ製造工程の中で異物として排出されるｽｸﾘｰﾝ粕、ﾉｯﾄ粕を木質燃料として再利用
・従来廃棄物として排出していた金属やﾌﾟﾗｽﾁｯｸに対して、種類ごとに分別を行うことで一部は有価物として業者に売却、廃棄物量を削減できるようになった。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙－２の通り
排出量	

（今後実施する予定の取組）
異常発生時や設備の緊急停止に伴う廃棄物の発生を抑制するため、操業の安定化に取り組み工場内環境事故発生ｾﾞﾛを目標とする。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・有価物化できる廃棄物について工場内全体に周知できるよう、分別方法、廃棄場所について社内ﾆｭｰｽや教育により案内を実施している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・最終処分量削減実現のため、廃棄物発生量当たりの有効利用量を示す有効利用率を達成項目に掲げ数値目標を設定した。（有効利用率2025年度目標99.8%以上）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　令和6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・自ら再生利用を行った産業廃棄物はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・産業廃棄物を自ら再生利用する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　令和6 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類_	有機性汚泥		木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	31,319	t	298.27	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	248,718	t	264.4	t
	（これまでに実施した取組） ・有機性汚泥の発生が多いためｽｸﾘｭｰﾌﾟﾚｽを導入し脱水処理後、廃棄物焼却炉にて焼却することで減容化を実施 ・廃棄物として発生する木くずの一部は破砕後燃料として廃棄物焼却炉にて有機性汚泥と混焼を実施				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類_	有機性汚泥		木くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	29,800	t	280	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	236,000	t	240	t
	（今後実施する予定の取組） ・有機性汚泥について引き続き汚泥の脱水強化を図るほか、汚泥の発生源となるﾊﾟﾙﾌﾟ繊維の歩留率の向上を図ることで、汚泥自体の発生を抑制する。				

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（　　令和6 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
・自ら埋立処分及び海洋投入処分を行っていません。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）
・自ら埋立処分及び海洋投入処分を行っていません。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="2">【前年度（　　令和6 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td rowspan="6">別紙－１の通り</td></tr>
<tr><td>全処理委託量_</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
・処理委託業者については、定期的に訪問監査を行い、処分状況の確認等を実施。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類＿
全処理委託量＿
優良認定処理業者への処理委託量
再生利用業者への処理委託量
認定熱回収業者への処理委託量
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>別紙－２の通り</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
最終処分量を削減するため処理委託業者の選定については、有効利用による処理が可能な業者を優先的に選択する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

■別紙-1. 産業廃棄物の処理委託状況　【令和6年度実績】

（単位:t）

産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき類	ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	木くず	有機性汚泥	無機性汚泥	鉱さい	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	廃油	計
排出量	3,681	37	5	729	252,271	740	1,330	33	9	9	258,845
全処理委託量	3,681	37	5	465	3,554	740	1,330	33	9	9	9,863
優良認定業者への処理委託量	2,379	29	5	91	181	203	381	33	9	9	3,320
再生利用業者への処理委託量	3,681	37	0.2	465	3,554	50	1,330	25	0	0.2	9,142
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	690	0	0	9	9	709
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	264	248,718	0	0	0	0	0	248,982
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	298	31,319	0	0	0	0	0	31,619

■別紙-2. 産業廃棄物の処理委託状況　【令和7年度目標】

（単位:t）

産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき類	ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	木くず	有機性汚泥	無機性汚泥	鉱さい	廃プラスチック類	紙くず	廃油	計
排出量	3,400	35	4	690	239,600	700	1,260	30	8	8	245,735
全処理委託量	3,400	35	4	450	3,600	700	1,260	30	8	8	9,495
優良認定業者への処理委託量	2,200	28	4	90	190	200	370	30	8	0	3,120
再生利用業者への処理委託量	3,400	35	1	450	3,600	150	1,260	23	0	1	8,920
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	550	0	0	8	7	565
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	240	236,000	0	0	0	0	0	236,240
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	280	29,750	0	0	0	0	0	30,030